

こまがね

市議会だより

2026.7.20
6月定例会
No.110



市内を訪ねて



第5弾

北割

📷 撮影場所(北割)



敬老会

北割2区
では、6月に敬老会
を開催し、75歳以上とな
る対象者321人のうち75人
が出席されました。祝宴で
は、和太鼓、日本舞踊、大正
琴、駒ヶ根演舞連などの団
体により会を盛り上
げました。

小原茂幸
広報広聴委員



P6~12
13人が登壇!
一般質問

Komagane city council news

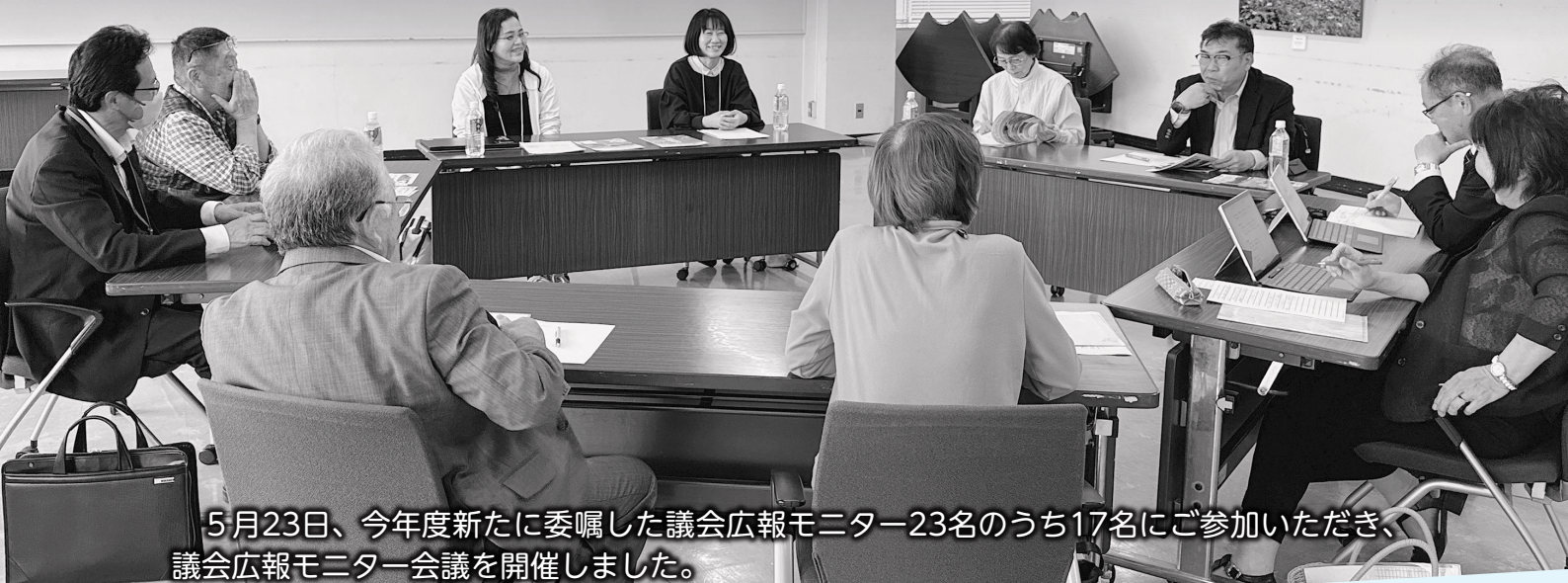
議会広報モニター会議	P2~3
委員会審査報告	P4
おもな議案の審議結果	P5
報告	P13
小学生が議場見学・提案発表	P14
議会のおもな動き	P15
編集後記	P16

信州
駒ヶ根
SHINSHU KOMAGANE



市議会
ホームページ

さまざまなご意見が出された3グループでの意見交換 議会広報モニター会議



5月23日、今年度新たに委嘱した議会広報モニター23名のうち17名にご参加いただき、議会広報モニター会議を開催しました。

この会議は、駒ヶ根市議会だよりを通じて市民の皆さんとのつながりを深めるとともに、市民の皆さんの意見を議会だよりの編集や議会活動に反映させることを目的としています。

意見交換では、「議会だより」「議会活動」「市政について」の3つのテーマに分かれ、多くのご意見をいただきました。その一部をご紹介します。

モニター会議の
詳細はこちらから



議会だよりについてのご意見

- 以前と比べて読みやすくなり、面白くなった。市民とのキャッチボールができている感じがする。
- 一般質問のYouTube配信などもあり、オープンな印象を受ける。
- 表紙は良いが、若い世代は手に取らず、中身まで読まない人が多いと感じる。
- 市報は読むが、議会だよりは見ないという人が多い。身近な議員が載っているページは見る。
- モニターになって初めて読んだ。議会だよりを改めて見ると議員の活動がよく分かる。
- 紙面の文字が多く、全体的に硬い印象。コラムなどは角をなくし、柔らかいデザインにしてはどうか。
- 「市議会だより」という名称が堅い。もっと親しみやすいタイトルにしてはどうか。
- 市民を掲載する記事を増やすと、本人や家族、知人など多くの人が見るようになる。



議会活動についてのご意見

- ・議員は以前は遠い存在に感じていたが、**実際に話をすると話を聞いてくれる身近な存在**と感じた。
- ・地域行事や消防団活動などで議員の顔を見る機会が多く、親しみを感じている。
- ・来年の市議会議員選挙では、各地区から議員が選出され、**議員空白区が生じないように**してほしい。
- ・他自治体の議員は執行部への働きかけを積極的に行っている。**市民に寄り添いながら活動してほしい。**
- ・**市民の困りごとに真摯に耳を傾ける議員**であってほしい。
- ・一般質問を傍聴しても、**執行部の答弁が期待した内容でなく**、物足りなく感じることもある。
- ・主権者教育は高校生だけでなく、中学生を対象に行うことも有効ではないか。
- ・**農業**に関する議論や話題が**少ない**ように感じる。

市政についてのご意見

- ・**駅前活性化を望む**声が多い。店舗の閉店で不便を感じる人もおり、市民に便利な施設やサービスの検討を望む。
- ・駅前ビルへの行政機能の配置や、駅前商店街を含めたリノベーションを進めてはどうか。
- ・当市は自然や景観が素晴らしく、人も優しい。**若い世代や移住者にもっと来てもらえるまち**になってほしい。
- ・移住者に対して自治会加入の意義や活動内容を丁寧に説明しないと、自治会離れにつながるのではないか。
- ・消防団活動や負担に見合った処遇改善の検討を望む。
- ・不登校や引きこもりの方など、移動手段を持たない人のために**予約制小型シャトルバス**などを検討してほしい。
- ・若い職員や職員の**意欲を生かせる組織づくり**を進めてほしい。
- ・区長経験者など地域課題を把握している人材が、市政に関わる仕組みも必要ではないか。

モニターさんにインタビュー

米澤 一民さん

モニターになったこの機会を通して、自分も勉強して、見聞を広め、駒ヶ根市が益々発展することを願っています。

関心を寄せている自治会に関しては、市民の意見を各自治会や区、議員などを通して市へ反映させていければ、市民の意見を細かく聞けると思います。



柳澤 智子さん

自分が困ったり、市に訴えてうまくいかないことがあったことから議会に興味が出てきて、議会だよりを読むようになりました。議会だよりに目を通す方は、「もっとこうしたい」「こうだったらいいのに」という思いを持っている方が多いのではないかなと感じています。

下島 幸恵さん

モニターのみなさんそれぞれに思いがあり、活発な方が多く話していて楽しかったです。

住んでいる中沢が好きですが、中沢の子どもの人数が減っていることに大きな危機感を感じています。また、現在、中沢の新宮川岸地区で整備が進んでいますが、ぜひ地域の拠点となるような場所にしてほしいです。



6月定例会では、6月4日・23日・24日・29日に常任委員会を開催し、条例改正案や一般会計補正予算案などの議案を審査しました。審査した議案の主な内容と質疑内容をお知らせします。(議決結果は、P5参照)

提出された議案は、本会議で直ちに採決する場合もありますが、より詳しく審査するため、所管の常任委員会に付託し、委員会として賛成・反対を決定します。

総務産業委員会

委員長：小原晃一 副委員長：中山万宝
委員：小原茂幸 竹村誉 小林敏夫 福澤美香 押田慶一(欠)

①自治組織支援のため、中間支援人材を配置します

持続可能な自治組織の仕組みづくりなどを担う集落支援員を新たに配置し、地域の支援を行います。



問 2名を配置予定とのことだが、勤務形態は。

答 庁舎内に在籍していただき、勤務時間は基本的に8時30分から17時までとなる。地区の会議やイベントに参加する場合など時間外の勤務は、振替勤務を想定している。

問 集落支援員の仕事の内容は。

答 希望する区で、以下のモデル事業を行うための支援などを想定している。

- ①地域の業務の棚卸し・整理
- ②地域の教科書の作成（歴史の見える化など）
- ③デジタル活用（SNSやアプリの実証試験など）

<議案第47号 令和8年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第2号)455万円>

②駒ヶ根キャンプセンターリニューアル工事請負契約の締結について

施設の老朽化を解消し、利用者の利便性や快適性を向上させるとともに、近年多様化しているキャンプニーズに対応した改修を行います。



問 トイレの部分改修とあるが、どのような内容か。

答 身障者用トイレを新たに設置する。

問 工事が来年3月10日までということだが、それに伴い営業を休止するのか。また、入札の件数および落札率は。

答 指定管理者との打ち合わせや施工業者との確認を行い、9月中はエリアを分けて営業を継続する。10月以降は全面休止となる。入札件数は、3社が応札しており、落札率は98.01%。

議案第53号 高原観光地整備事業
<駒ヶ根キャンプセンターリニューアル工事請負契約の締結について 1億7,600万円>

教育民生建設委員会

委員長：今堀雷三 副委員長：藤井邦彦
委員：宮下稔 竹上陽子 池田幸代 竹村知子 中島和彦

①最高裁判決を踏まえ生活保護費を追加給付します

平成25年から実施された生活扶助基準の改定が、令和7年6月の最高裁判決で違法と判断されたことを受け、対象世帯へ保護費の差額分を追加給付します。

【対象世帯】

対象期間	対象となる世帯
平成25年8月～平成30年9月	駒ヶ根市で生活保護を受給したことがある世帯
平成30年10月～令和8年3月	駒ヶ根市で生活保護を受給した世帯のうち、一部加算があった方や期末一時扶助費（毎年12月支給）が算定された世帯

問 対象の方へどのように説明するのか。

答 現在受給されている方は申請不要。受給停止や他地域へ行かれた駒ヶ根市での受給者は、申請が必要になる。資料や通知については、今後検討する。

<議案第47号 令和8年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第2号)998万円>

②十二天の森整備事業を拡充します

補助金を活用し、十二天の森のナラ枯れ被害木の伐採・チップ化や、樹木が鬱蒼として入りにくい東側入口の間伐を行い、利用者の安全と利便性の向上に取り組めます。



問 ナラ枯れになっている樹木の本数は、どのくらいあるのか。

答 120本程度と認識している。

問 マツ枯れの状況はどうか。

答 専門家が入っている訳ではないが、職員の目視では、マツ枯れはない状況と認識している。

<議案第47号 令和8年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第2号)450万円>

6月開催の定例会において審議した結果を報告します。

●全会一致：採決による議会の意思決定のとき、出席議員全員の意思が一致すること

令和8年第3回6月定例会

●補正予算 年度途中の新たな事業などへの対応のため、必要な予算を追加・変更などを行うもので、議会の議決が必要。

付託先	件名	賛否の多少	採決結果
総務産業	令和8年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決
総務産業[教育民生建設]	令和8年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第2号)		
教育民生建設	令和8年度駒ヶ根市公共下水道事業会計補正予算(第1号)		
	令和8年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)		
総務産業	令和8年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第3号)		

●人事・条例の一部改正・契約・その他

付託先	件名	賛否の多少	採決結果
即決	駒ヶ根市公平委員会委員の選任について(倉田俊之氏、新任)	全会一致	原案同意
	駒ヶ根市固定資産評価審査委員会委員の選任について(松井浩二氏、新任)		
	駒ヶ根市農業委員会委員の任命について(委員19名)		
	伊藤宏美氏、河上邦和氏、吉瀬久司氏、北澤満氏、北原有氏、木下垂紀氏、倉田弘次氏、倉田益式氏、氣賀澤道雄氏、小松原ひとみ氏、小松原博氏、堀澤博明氏、佐野理子氏、中原康男氏、松崎文彦氏、宮下守氏、向山昭氏、善積峰子氏、米山良司氏		
	伊藤宏美氏、河上邦和氏、吉瀬久司氏、北澤満氏、北原有氏、木下垂紀氏、倉田弘次氏、倉田益式氏、氣賀澤道雄氏、小松原ひとみ氏、小松原博氏、堀澤博明氏、佐野理子氏、中原康男氏、松崎文彦氏、宮下守氏、向山昭氏、善積峰子氏、米山良司氏		
総務産業	駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例	全会一致	原案可決
	駒ヶ根市都市計画税条例の一部を改正する条例		
	財産の取得について		
	財産の処分について		
	高原観光地整備事業 駒ヶ根キャンパスセンターリニューアル工事請負契約の締結について 公の施設の指定管理者の指定について		

●専決処分の報告 緊急性が高く議会を招集する時間的余裕がない場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、市長が議会の議決に代わり意思決定すること。専決処分したものは、市長が次の議会で報告し、承認を求める

付託先	件名	賛否の多少	採決結果
即決	駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて 駒ヶ根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	全会一致	原案承認

●議員からの発議

議案等番号	件名	賛否の多少	採決結果
議 第 1 号	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	全会一致	原案可決
少人数学級のさらなる推進や教員定数改善による教育環境の充実と、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充による財源保障を国に求めるもの			

賛否が分かれた議案等に対する
会派別議員別賛否、本会議での討論

賛否が分かれた議案等に対する 会派別議員別賛否、本会議での討論																		本会議の採決結果
件 名		至誠会	アルプス			改進の会			創風すずらん				三鏡会		無所属			
		小林敏夫	今堀雷三	竹村 誉	池田幸代	竹上陽子	小原 晃一	宮下 稔	竹村 知子	小原 茂幸	押田 慶一	福澤 美香	氣賀澤葉子	中山 万宝	中島 和彦	藤井 邦彦		
消費税率一律5%以下への引き下げと 消費税インボイス制度の廃止を求める陳情書 【総務産業委員会審査結果：不採択】		○	○	×	×	×	○	○	○	○	欠	○	—	○	○	×	不採択 (賛成9:反対4)	
不採択に 反対	消費税は低所得者ほど負担が重い不公平税制であり、インボイス制度は小規模事業者やフリーランスの経営を圧迫している。地域住民と中小零細事業者の暮らしと経営を守るため、消費税率5%以下への引き下げと制度廃止を求め、不採択に反対する。																	
不採択に 賛成	物価高などによる厳しい状況は認識するが、消費税減税は社会保障と財源を一体で議論すべきである。陳情内容は妥当性や実現性に課題があり、市町村の権限を超えることから、不採択が適切と考える。																	
ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の 緊急事態の打開を求める陳情書 【総務産業委員会審査結果：閉会中の継続審査又は調査】		○	○	×	×	×	○	○	○	○	欠	○	—	○	○	○	閉会中の継続審査 又は調査 (賛成10:反対3)	
継続審査に 反対	ホルムズ海峡を巡る情勢はなお不安定で、物価高や資材不足により中小企業は深刻な経営難に直面している。継続審議では状況は変わらず、国による全国一律の支援を求め、議会としても一歩踏み出すべきとして継続審査に反対する。																	
継続審査に 賛成	陳情趣旨には異論はないが、政府は石油備蓄の放出や代替調達などの対策を進めている。現状を分析し今後の動向を見極めることが重要であり、現段階では継続審査が適切と考える。																	

一般質問

市政を問う



一般質問とは、議員が市政について自由に質問することです。

各議員のQRコードからYouTubeの録画配信をご覧くださいことができます。

今回、13人の議員が一般質問を行いました!

①QRコードをカメラやアプリなどで読み取ります。(お使いの機種によって操作方法が異なりますのでご注意ください。)



②画面に表示されたURLを選択すると議員の一般質問ページ(YouTubeページ)が表示され動画が始まります。



小原 晃一 議員

問 南の原地籍に街路灯の設置の検討は

答 地元区での防犯灯設置の検討を連携する

6月1日、赤穂南小学校6年生が議員見学会と提案発表に訪れた。「みんなが安心・安全に過ごせるために」の提案で、「南の原は街灯が少なく危ないです。私の母も夜の運転が怖いと言っています。街灯があれば歩行者や運転者も安心して通行できます。車のあまり通らない暗い道に、街灯を設置した方がより安全に生活できると思いました。」と発表があった。そこで、市はどのような基準で街路灯を設置しているのか、また、南の原の設置状況と小学生の提案への対応は。

建設部長 街路灯の設置には、道路照明として市が設置する場合、国の基準により設置箇所が横断歩

道や信号交差点などに限定されており、それ以外の箇所への設置は行っていない。一方、防犯灯の設置であれば、地元区や自治組合に設置・維持管理を担っていただくことになるが、市防犯協会を通じて費用の一部を支援する補助制度がある。子どもたちの貴重な声を、まずは市から地元区に伝え、補助制度の検討も含め、防犯灯設置の検討時は、市も連携し地域の安心・安全の確保に取り組む。

②

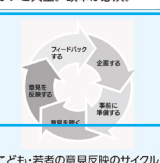
【その他の質問】

- ▶都市計画マスタープランの検証
- ▶胸ヶ根高原一帯の観光の現状
- ▶市内製造業への技術継承支援は



質問後の感想

「子ども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」では、約7割の若者が自治体の政策などに意見を伝えたい意欲がある。一方、4割の若者が、意見を伝えても形式的で反映されない」と失望。改革は必須。



子ども・若者の意見反映のサイクル



小原晃一議員 一般質問

- ① 一般質問終了後の感想を掲載しています。
- ② その他に行った質問を掲載しています。



宮下 稔 議員

問 行政の事務ミスを予防する体制づくりは

答 提案を含め内部統制強化へ研究を深める



質問動画はこちら

問 当市でも、課税誤りなど事務ミスがちょくちょく起きている。そのたびにダブルチェックやトリプルチェックの体制を徹底し再発を防止すると言っているが、それでも繰り返している。市長就任後、どんなミスが生じたか覚えているのか。失敗の事例を改善に生かしているか。

市長 福祉・介護分野で高額介護サービス費の未支給問題や固定資産税の課税ミスなどがあった。再発防止策として、各部署による事務のリスト化・マニュアル化など業務の見える化と上司による定期点検、職員間のコミュニケーション強化により再発防止に取り組んでいる。

問 地方自治法に従って内部統制の基本方針を定めるとともに、リスク評価シートなどを整えて、市の組織全体でミス発生の抑制・予防に取り組んだらどうか。考えは。

市長 内部統制の体制整備は、平成29年度の地方自治法改正によって一般市にも努力義務とされた。ご指摘のリスク評価シートも他市を参考に組織規模や実情に合ったものとなるよう研究を進める。組織的なリスク管理の定着を図りたい。

【その他の質問】

- ▶職員の兼業や自治組織支援は
- ▶小中学校の教育環境の充実など、特色あるまちづくり推進は

質問後の感想

事務ミスが発生させない体制づくりを強化し、市民から信頼される市政を実現してもらいたい。学校の特別支援や専科教員の人数は充実させているという。保護者や他市に自慢できるレベルなのか。



市役所2階事務室の様子



中山 万宝 議員

問 市職員の障がい者法定雇用率は

答 令和7年12月末1.52%で未達成



質問動画は
こちらから

問 市の障がい者雇用の状況について以下4点を問う。

- ・障がい者の在籍人数と法定雇用率の実績は。
- ・法定雇用率に対して何人不足か。
- ・労働局から改善勧告を受けた事実はあるか。また、法定雇用率達成に向けた施策は。
- ・今年度、法定雇用率が改定されるが達成できるか。

市長 市役所の法定雇用率は令和7年12月31日時点で1.52%であり、法定雇用率に対して3人不足している。令和6年6月1日時点で法定雇用率を達成できなかったため、令和7年1月から12月ま

でを期間とする障がい者採用計画を作成し、労働局担当者と協議しながら改善に取り組んできた。しかし、令和7年12月31日時点で達成できず、労働局から適正実施勧告を受けた。法定雇用率達成に向けて、必要な予算を計上し、既に採用の手続きを始めている。法定雇用率改定後についても、社会的責任を果たすべく改善を進めていく。

【その他の質問】

- ▶「障がい者基本計画」の進捗状況
- ▶博物館などの展示物の在り方
- ▶公共施設トイレの清掃管理は（高校生・小学生要望事項）

質問後の感想

障がい者が差別なく平等に働く場を設けることが障がい者雇用促進法の前提です。市は率先してこの意義を理解し進めるべきと考えます。真摯に対峙し住みやすい地域にしたいと願います。



障がい者法定雇用率を遵守しよう！



今堀 雷三 議員

問 猟友会の高齢化や担い手不足への対応は

答 狩猟免許取得補助や市報で広報を実施



質問動画は
こちらから

問 猟友会の高齢化や担い手不足に対する市の認識と取り組みは。

市長 全国的な課題で、市も深刻な問題と認識している。市としては狩猟免許取得補助や市報での活動内容紹介と入会案内を広報している。また県が実施するハンターデビュー講座への支援や参加呼びかけなど新たな人材確保に取り組む。

問 捕獲・駆除後の処分場が中沢地区にしかないため、赤穂地区からでは距離があり時間を浪費する。赤穂地区での処分場の整備検討は。

市長 猟友会の皆さんの駆除個体の運搬に負担が生じていることは認識している。新たな場所の選定

には至っていないが、引き続き猟友会の意向を確認しつつ協議を続ける。

問 捕獲・駆除した鳥獣を地域ブランドとして生かせる食肉のジビエとして活用するため、新たに食肉加工施設を整備する可能性は。

市長 駆除個体のジビエ利用や加工施設整備について具体的な検討には至っていない。需要や生産性の動向を考慮し、可能性を含め、今後研究していく。

【その他の質問】

- ▶人命と地域資源を守る火災予防
- ▶小児科・産婦人科オンライン相談
- ▶十二天の森の枯損木の処理と北側の空き地の整備について

質問後の感想

ハンターデビュー講座とは、初心者ハンターに対して県が捕獲技術の知識や技能を教える場です。それにしても、人口減少や高齢化が進むと猟友会に限らず全ての組織の持続可能性が心配になりますね。



山に入ればすぐにクマ用のオリが！



藤井 邦彦 議員

問 自治組織の将来像をどう描くか

答 モデル事業を3年で全域展開し定着図る



質問動画は
こちらから

問 自治組織の課題をどう捉え、モデル地区の取り組みを全市にどう広げ、どんな将来像を目指すか。

市長 自治組織は行政の重要なパートナーであり必要不可欠。集落支援員が自治組織と共に仕事を仕分けし、役割分担を明確化する。モデル事業は準備・導入を経て3年かけて全域に展開し、定着を図りたい。

問 市の支援範囲と自治組織の役割の線引きをどう図るのか。

市長 仕事の仕分けをした結果、それが必要か不必要か、自治組織が担う仕事か行政が担う仕事かの範囲が明確になる。この取り組みをモデル事業として、自治組織と集落支

援員が力を合わせて進めていく。

問 地域事務局(仮称)を担う人材にどんな能力や経験を求めるのか。

市長 客観的な視点で課題を捉え、公平な意見を言える方や若い世代、地域づくりの経験者などを想定。予算成立後、7月中に募集を行う。

問 2名募集する集落支援員とは別に、各区の個別課題に伴走支援する人材も必要ではないか。

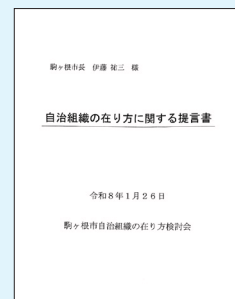
市長 別途の人材投入は考えていない。各地域が課題を自分事として話し合えるようモデル事業で取り組む。

【その他の質問】

▶地域を支える力を継承するには

質問後の感想

自治組織を重要課題と位置付ける市の姿勢は評価したい。一方で各地区ごとに事情は異なり、丁寧な対応が必要だ。モデル事業の進捗を見ながらも、時間的余裕は多くはなく、早期の将来像提示を期待したい。



モデル事業の基礎資料となる提言書



竹村 誉 議員

問 くらすわの森の譲渡・休止、雇用は

答 スムーズに移行できるよう連携していく



質問動画は
こちらから

問 養命酒製造(株)は、物販、飲食などの「くらすわ」関連事業を(株)山田養蜂場本社へ譲渡すると発表した。嘱託・パート職員65人程度の雇用契約も7月31日を最後に終了するという。雇用が心配される方々への雇用・再就職支援を、市はどのように考えて対応するのか。

市長 雇用終了などは、市としても残念。雇用は養命酒製造(株)で再就職支援に全力を尽くす意向が示されている。市も退職される方々が次のステップへスムーズに移行できるよう、引き続き養命酒製造(株)や関係機関と連携して取り組む。

問 養命酒とくらすわの森は、市

も周遊観光の拠点として期待していた施設だ。観光やフォレストリングの今後について、市の考えは。

市長 今後もショップの壱の蔵、レストランの貳の蔵、工場見学は継続するとお聞きしている。市内観光をつなぐ貴重な周遊拠点の一つとして、養命酒製造(株)と連携し誘客を図っていく。フォレストリングは、養命酒製造(株)で今後の方向性を検討されており、対応を見守りたい。

【その他の質問】

- ▶中東情勢・物価高騰による市内事業者の影響と対応は
- ▶火災増が社会問題、当市の対応は
- ▶農地を保全する考え方は

質問後の感想

雇用契約終了の対象となる嘱託やパートの方々の雇用が人数も多く大変心配だ。既存店舗や雇用の継続を図っているが、最大限の努力を、市も企業や関係機関と連携して、今後も取り組んでもらいたい。



施設は地元農産物を扱うマルシェも



小原 晃一 議員

問 南の原地籍に街路灯の設置の検討は

答 地元区での防犯灯設置の検討を連携する



質問動画は
こちらから

問 6月1日、赤穂南小学校6年生が議場見学と提案発表に訪れた。「みんなが安心・安全に過ごせるために」の提案で、「南の原は街灯が少なく危ないです。私の母も夜の運転が怖いと言っています。街灯があれば歩行者や運転者も安心して通行できます。車のあまり通らない暗い道に、街灯を設置した方がより安全に生活できると思いました。」と発表があった。そこで、市はどのような基準で街路灯を設置しているのか。また、南の原の設置状況と小学生の提案への対応は。

建設部長 街路灯の設置には、道路照明として市が設置する場合、国の基準により設置箇所が横断歩

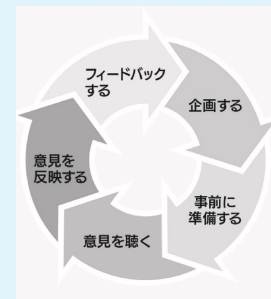
道や信号交差点などに限定されており、それ以外の箇所への設置は行っていない。一方、防犯灯の設置であれば、地元区や自治組合に設置・維持管理を担っていただくことになるが、市防犯協会を通じ費用の一部を支援する補助制度がある。子どもたちの貴重な声を、まずは市から地元区に伝え、補助制度の検討も含め、防犯灯設置の検討時は、市も連携し地域の安心・安全の確保に取り組む。

【その他の質問】

- ▶都市計画マスタープランの検証
- ▶駒ヶ根高原一帯の観光の現状
- ▶市内製造業への技術継承支援は

質問後の感想

「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」では、約7割の若者が自治体の政策などに意見を伝えたい意欲がある。一方、4割の若者が、意見を伝えても形式的で反映されないと失望。改革は必須。



こども・若者の意見反映のサイクル



小林 敏夫 議員

問 フジバカマの生育地管理については

答 現時点で里親募集を行う予定はない



質問動画は
こちらから

問 南割公園内にあるフジバカマ生育地の管理は、今年から市教育委員会が行うことになった。これまで草刈りやフジバカマの刈り取り、その後の片付けなど大変な作業が続いてきた。隣の宮田村では、里親を募集し、区画ごとに管理してもらうことで成果を上げている。当市でも参考にして、里親制度を導入してはどうか。

教育長 現在、多くのアサギマダラが飛来しているとの報告はなく、大規模な面積での取り組みではないため、現時点で里親募集を行う予定はない。

問 齊藤教育長はフジバカマの生育地を実際に見たことがあるか。

また、どのような印象を持ったか。

教育長 ハッチョウトンボの生育地は見たが、フジバカマの生育地については場所が分からず、気付かずに戻ってきた。

問 アサギマダラが飛来していない原因をどのように考えているか。

教育長 専門的な部分については勉強不足で答えられない点もある。飛来が多い9月頃の状態を見ながら、今後の管理について検討していきたい。

【その他の質問】

- ▶外国人土地所有地の実態は
- ▶ハッチョウトンボ生育地整備は

質問後の感想

現地も見えてなくて思慮に深みのない答弁であるとの印象を受けた。草取りさえしておけば花は咲くが、それが大変なので里親制度の導入を提案した。草の中に花では、アサギマダラは来てくれない。



雑草の中で生育中のフジバカマ



池田 幸代 議員

問 生活雑排水の田んぼへの流入抑止策は

答 公共下水道への切り替えを促す



質問動画は
こちらから

問 市民より、道路側溝に生活雑排水が流されている、農業用水路にも混入しているとの相談を受けた。農業用水路は農林課、道路側溝は建設課が管轄しているが、道路側溝の水は農業用水路へ流入するのか。

産業部長 両者は排水系統の連続性から接続されている箇所もあるほか、兼用側溝もある。

問 本市ではオーガニックビレッジに向けて取り組みを進めているが、昨今の合成洗剤は、におい成分などを封入したマイクロカプセル（プラスチック）の使用が増えており、化学物質過敏症の方も苦しんでいる。田んぼへの流入を懸

念するが、抑止策は。

建設部長 農業用水路へのマイクロカプセル流入を抑制するため、雑排水の未処理排出の削減を図るため、公共下水道への接続を促す。

問 下水道未接続世帯は851世帯あるが、高額な費用を要し、経済的に厳しい高齢者の一人世帯も多い。支援策はあるのか。

建設部長 市では、高齢者世帯などへの30万円を限度とする下水道接続工事費用補助をしている。

【その他の質問】

- ▶物価高による生活困窮の抑止策は
- ▶市民が相談しやすい窓口とは
- ▶情報公開請求制度の改善策は

質問後の感想

即座の下水道への接続工事は無理でも、市内の小売店でせっけん洗剤や重曹を購入できるので、マイクロカプセル入りの合成洗剤から変える協力を期待する。



市内店舗でも購入可能な無添加洗剤



中島 和彦 議員

問 6月1日より導入の「宿泊税」について

答 県と連携し制度定着に向けて取り組む



質問動画は
こちらから

問 長野県宿泊税は地方税法に基づく法定外目的税との位置付けで、使い道は観光振興という目的に限定された税金となっている。宿泊税は、地元の宿泊事業者が徴収し、毎月県へ納付する。また、宿泊者に対し導入の意義や内容などの説明を要し、労力もかかると考える。このような状況の中で、宿泊事業者へのサポートなどの考えは。

市長 宿泊事業者から宿泊税に関わる相談などが寄せられた際には、県と連携をし、相談支援を行っていく。宿泊事業者など、最前線で影響を受ける立場の方々への丁寧な説明をし、調整を行う。

問 県は市町村に配分する交付金を基金として積み立てを可能とし、市は宿泊税交付金基金設置の準備を始めている。判断は各自治体に委ねられている。市の考えは。

市長 市町村が独自の施策に活用可能な一般交付金は、宿泊事業者や観光事業者の皆さまに聞き取りを行っており、令和8年度において活用を検討する。他の市町村と連携した事業に充当する重点交付金については、上伊那の市町村、伊那谷観光局などと検討を進めている。

【その他の質問】

- ▶「市民生活応援券」の活用の状況は
- ▶太陽光パネルについて

質問後の感想

飯田線開通108年、中央自動車道開通48年。伊那谷第3の夜明けを見据え、リニア新幹線と三遠南信自動車道開通に向けて、宿泊税が観光需要・誘客増の起爆剤になればと期待します。



長野県「宿泊税」導入のお知らせ



福澤 美香 議員

問 使用不可になっている遊具の修繕時期は

答 更新時期の前倒しなど可能か検討する



質問動画は
こちらから

問 駒ヶ根高原にある「森と水のアウトドア体験広場」の遊具が、長期にわたり使用禁止になっている。危険性があり使用できないのは仕方がないが、子どもが通れないよう張ってあったテープなども劣化して切れており、「使用禁止」の張り紙も遊具の外側に垂れ下がったまま放置されている状態が問題だ。遊具がいつから使用できないのか、どのような危険性があると判断し、これまで市が行ってきた対応は。また、修繕・撤去工事の開始時期や工事完了予定時期などは。

市長 「森と水のアウトドア体験広場」には6基の遊具があり、設

置から23年が経過して老朽化している。このうち4基は令和5年の遊具健全度調査でC判定となり、危険性（スプリング部品の期限超過、子どもの体が挟まれるリスク、腐食など）が確認されたため、令和5年から使用禁止としている。維持管理については、市内の指定管理者に委託している。第2期公園施設長寿命化を進める中、更新時期は令和14年以降であるが利用者ニーズや費用を踏まえ、今年度策定する3カ年計画で前倒しなど可能か検討する。

【その他の質問】

▶こまかつぱの更なる活用と、店頭でグッズの欠品が続く改善策は

質問後の感想

公園遊具もグッズの店頭欠品も実際の管理者が誰であるか利用者・観光客には関係ない。現状を見て、市の担当者が管理できていないと感じるのでは。指定管理者へ委託している行政側の管理能力も問われる。



危険であれば遊べないようにすべき



竹村 知子 議員

問 子どもの性暴力防止とDBSの運用は

答 厳格な情報管理体制を整え円滑に運用



質問動画は
こちらから

問 子どもと接する仕事に就く人の性犯罪歴を確認する「日本版DBS」制度が今年12月に運用開始となる。警察庁によると、18歳未満の子どもが不同意わいせつなどの性被害にあった事件の摘発件数は2025年に4,858件となり、3年連続で増加し過去10年で最多となった。子どもが安心して学び、活動できる環境を守るため、市として確認の対象職種や運用体制をどう整備するのか。

教育長 学校や保育園、放課後児童クラブの職員、学習塾やスポーツクラブなどの民間教育事業者が対象となる。運用に向け確認対象となる業務や職種をリストアップ

し、庁内共通の判断基準を設ける。閲覧職員の限定など厳格な情報管理体制を整え、職員への周知や理解を図り、円滑な運用に取り組む。

問 子どもを性被害から守るため学校での、いのちの安全教育の現状と今後の推進は。

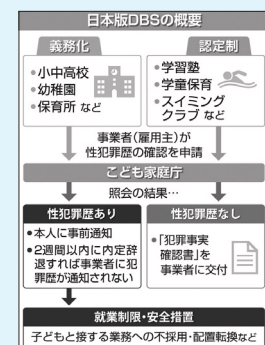
教育長 教職員に対しては、非違行為防止研修、小中学校では命の大切さや性に関する指導、SOSの出し方教育を行っている。子どもたちが自らを守る力を育む取り組みを行う。

【その他の質問】

▶ラーケーション制度導入について
▶災害時に要配慮者が福祉避難所へ直接避難できる体制の整備は

質問後の感想

子どもへの性犯罪が多発する中、子どもを守るための日本版DBSの運用はとても重要と感じる。保護者にとっても安心につながる制度で、適切な運用が進むことを期待する。



子ども性被害防止 日本版DBS



小原 茂幸 議員

問 民間活力導入の基本的な考え方について

答 多様な官民連携手法を積極的に検討する



質問動画は
こちらから

問 人口減少や少子高齢化が進む中、厳しい財政状況や人材不足が予測される。また、建設資材や労務費の高騰、建設業界の人材不足などにより、公共施設整備の在り方や長期的な視点による公共サービスの在り方が大きく問われている。本市における民間活力導入の基本的な考え方について、PPP（官民連携）・PFI（民間資金で建設・維持管理）を、どのように位置付けているのか。また、民間活力導入に向けた調査研究の状況は。

市長 行政だけで全ての公共サービスを担うのではなく、民間事業者の皆さんの資金やノウハウ、創意工夫を活用し、効率的で質の高

い行政サービスを提供することが重要だと考えている。

今後の公共施設の再編や利活用に、民間活力の導入可能性を積極的に研究し、さまざまな研修会への参加や先進自治体の事例調査も進めている。産業用地整備や企業誘致における官民連携や、民間に設計建設運営維持を一括委託するDBO（デザインビルドオペレート方式）による交流拠点整備などについても調査研究を進めている。

【その他の質問】

- ▶ 市民の声を幅広く聞くためには
- ▶ 本市におけるAIの活用状況は

質問後の感想

6月中旬、総務産業委員会の有志で、JR茅野駅前再開発ビルを視察し、運営する北原社長から状況をお聞きした。市長答弁からも、官民連携による「まち造り」に、改めて大きな可能性を感じた。



DBOによる茅野駅前ビル再開発事業



竹上 陽子 議員

問 学校給食、非喫食児童への補助実施は

答 県内19市と情報共有し対応を検討する



質問動画は
こちらから

問 今年度より国の施策で小学校給食費軽減交付金として、在籍児童数1人あたり5,200円が交付される。不登校やアレルギーによって給食を食べられない、食べていない児童への当市としての対応は。

教育長 今回の給食費負担軽減措置は、個々の児童へ直接給付を想定したものではない。金銭給付を行うには、自治体が補助金交付要綱など、整備が必要であり、即時の対応は難しい。

問 国の要綱には、非喫食者に5,200円×11カ月分を上限とし給付することができる、恒常的に喫食できない児童にも給付することができるとある。どんな状況に

あっても給食費無償化の制度の枠から外されることのないよう、学校設置者として、給食費相当額の支援をするべきではないか。

教育長 国は現在、事務処理要綱を作成中であり、その要綱が示され次第、内容を確認し県内19市などと情報共有しながら、対応の方向を検討していく。

【その他の質問】

- ▶ 小学校給食費の完全無償化について
- ▶ 物価高騰から市民生活を守る支援について
- ▶ 外来植物の発見と駆除について

質問後の感想

飯島町は、「不登校、アレルギーなどの理由で給食を食べられない児童を対象に無償化の公平性を保つために無償化相当額を現金で補助する方針を決めた」と新聞報道された。当市でも補助を望みます。

学校給食が
小・中学生
みんな無料！

5



※ 市が提供している金での児童・生徒の給食が無料

日立市子育て支援ホームページより

「地域経営のための議会改革度調査2025」ランキング発表

駒ヶ根市議会が全国65位（長野県7位）にランクインしました

地域経営のための議会改革度調査とは、早稲田大学デモクラシー創造研究所が全地方議会を対象に行う調査で、議会改革の取り組みや傾向を「政策力の強化」「主権者の参画」「議会機能の強化」の3つの柱で数値化しランキング形式で発表されます。

今回の調査では、全国1,788議会（回答数：1,372議会）を対象に行われ、駒ヶ根市議会は、全国65位/1,372議会（長野県7位/46議会）との評価を受けました。（2024年は全国74位）

特に、タブレットなどデジタルツールを活用した「政策力の強化」では全国35位という結果となりました。

今後もさらなるレベルアップを図り、市民の皆さまに信頼される議会を目指し頑張ります！

詳細は、「地域経営のための議会改革度調査」ホームページからご覧ください



近年取り組む主なもの



高校生未来会議

まちなかおじゃまDE議会

県内外より、多くの議会の皆さまが駒ヶ根市へ行政視察に訪れています

令和7年度の受け入れ状況をご紹介します。

月 日	議 会 名	人数	視 察 内 容	担当部署
5月 8日	伊那市議会	9	・市民に伝わる議会だよりについて	議会事務局
6月26日	福島県塙町議会	15	・公共交通システムの取り組みについて	企画振興課
7月23日	伊那市議会	12	・移住×婚活の取り組みについて ・えがお出会いサポート事業について	企画振興課
7月24日	滋賀県高島市議会	2	・企業誘致の取り組みについて	商工観光課
8月 5日	山梨県上野原市議会	12	・少子化について	企画振興課
10月14日	大町市議会	13	・議会改革について ・広聴広報委員会の取り組みについて	議会事務局
10月29日	島根県益田市議会	7	・公共ライドシェア（meemo駒ヶ根）実証実験について	企画振興課
11月 6日	島根県出雲市議会	11	・議会運営・議会活性化について ・高校生会議（主権者教育）について	議会事務局
11月11日	松本市議会	10	・結婚支援事業について	企画振興課
12月22日	栃木県矢板市議会	10	・クールダウンミーティングについて ・事業評価について	議会事務局
1月22日	新潟県妙高市議会	9	・議会運営と議会改革について	議会事務局
2月 5日	和歌山県串本町議会	8	・健康長寿の取り組みについて	地域保健課
2月12日	佐久市議会議員・ （一社）佐久産業支援センター	4	・こまがね健康ステーションについて ・健康経営に関する取り組みについて	地域保健課 総 務 課

赤穂南小学校6年生が 議場見学・提案発表



6月1日、赤穂南小学校6年生54人は授業を通じ、市役所や市議会の役割などについて学習を重ねてきました。

今回、議員に向けてさまざまな提案をいただきましたので、ご紹介します。

ホームページでもご紹介しています。
ぜひご覧ください。



発表者・提案内容

(敬称略)

スポーツが盛んになるために

No.	提 案 内 容	氏 名
1	公園に柵を作してほしい	氣賀澤煌琥 小松原 煌
2	スポーツ施設を作してほしい	後藤 成謙 伊東 恵汰

みんなが楽しめるために

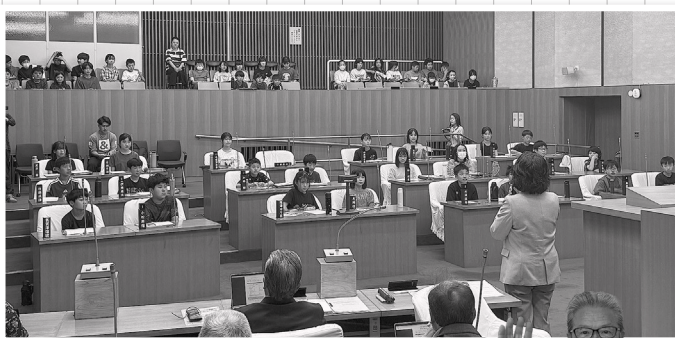
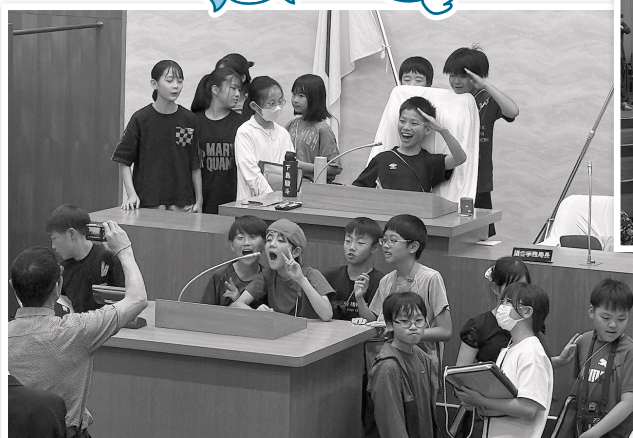
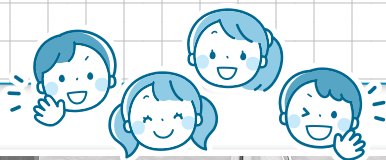
No.	提 案 内 容	氏 名
3	ショッピングモールを作してほしい	足立 葵 吉瀬 月湖 毛賀澤由季
4	大きな公園があると嬉しい	塩澤ゆり花 月岡 佳凜
5	お祭りを続けてほしい	小林 樹 下島 駿斗

みんなが安心・安全に過ごせるように

No.	提 案 内 容	氏 名
6	自転車の通る道がわかるようにしてほしい	大澤 諒也 上久保瑠哉
7	街灯を付けてほしい	林 佑吏 松澤 穂果
8	公園のトイレをきれいにしてほしい	小林明日美 高島こつみ
9	通学路をきれいにしてほしい	桑原 樹 溝口 陽人

駒ヶ根市の魅力をみんなに知ってもらうために

No.	提 案 内 容	氏 名
10	ソースかつ丼で盛り上げてほしい	池上 滉平 木村 碧希
11	駒ヶ根市の魅力を発信してほしい	山田 菜月 米村 湊



市議会では、議会の仕組みなどを知っていただくため、議場見学を行っています。学校はもちろん、自治会や団体の皆さんもOKです。お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

中山ワクワク未来部会長



見識を広げ、新たな政策へ 議会のおもな動き



Activity Report

4月

- 2・15日 広報広聴委員会
- 8日 ワクワク未来部会
- 9日 市議会全員協議会
- 16日 機能向上推進委員会
- 13・17・30日 ツキニミーティング
- 30日 政策検討部会

5月

- 1・14日 市議会全員協議会
- 14日 広報広聴委員会
- 13・20・28日 ツキニミーティング ▶下の記事参照
- 21・26日 行政視察受入(長岡市議会・稲美町議会)
- 28日 議会運営委員会、各派代表者会
- 28日 総務産業委員会企業訪問 ▶下の記事参照
- 29日 ワクワク未来部会

6月

- 1日 赤穂南小学校6年生議場見学 ▶P14参照
- 2・25日 広報広聴委員会
- 2・29日 市議会全員協議会
- 4日 第3回定例会開会
- 5・25日 議会運営委員会、各派代表者会
- 19・22日 第3回定例会一般質問 ▶P6～12参照
- 23・24日 総務産業委員会、教育民生建設委員会 ▶P4参照
- 29日 第3回定例会閉会
- 29日 議会機能向上推進委員会

皆さまの意見や思いをお聞かせください

ふれあい交流会



令和8年度 駒ヶ根市議会

市民に開かれた親しみのある議会活動を推進するため、市民の皆さまの声を力にする「議員交流会」を開催します。

まちなかおじゃまDE議会 in KOMA夏

7月25日(土) 15時～
こまがね市民活動支援センター「ばとな」前

まちなか 議会だより表紙 パネル展

9月17日(木)～10月1日(休)
こまがね市民活動支援センター「ばとな」内

ばとな 開館時間：火～金曜日9:30～18:30、土・日曜日10:00～18:00
休館日：毎週月曜日、毎月第2火曜日、祝日

おじゃまDE議会 中沢(文化祭)

10月31日(土) 11時～15時
中沢公民館

おじゃまDE議会 東伊那(文化祭)

11月1日(日) 11時～15時
東伊那公民館

議会報告会

11月28日(土) 13時30分～16時
赤穂公民館(予定)

・事前の申し込みは不要です ・日時及び会場の変更が生じる場合があります

総務産業委員会企業訪問 市内企業の ものづくり現場を視察



5月28日、テクノネット駒ヶ根のご協力により、市内の製造業3社を視察しました。当日は、アイエイエム電子(株)、(株)ヨウホク、塚田理研工業(株)を訪問し、企業概要の説明や工場見学を通じて、人材育成や新たな取組、課題や今後の展望について伺い、市内企業の現状やものづくりへの理解を深める有意義な視察となりました。



教育民生建設委員会 ツキニミーティング



施策の現状把握や議員間の対話促進を目的に、常任委員会ごとにツキニミーティングを実施しています。市内の状況を知るため市役所以外で開催しており、5月28日は駒ヶ根テレワークオフィス「Koto」を会場としました。4月からコワーキングスペースとして開放されている施設で、通信環境も整い、快適な環境の中で意見交換を行いました。

竹村 誉議員が表彰されました

在職15年の議員活動に対し、4月23日に北信越市議会議長会、5月27日に全国市議会議長会から表彰されました。6月定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達がありました。



赤穂南小学校6年生が議場を見学

6月1日、赤穂南小学校6年生54人が議場見学とあわせて議員に向けてさまざまな提案をしていただきました。詳細は、14ページをご覧ください。



議会だよりについてご意見をお聞かせください。

市民の皆様に分かりやすく、読んでいただける議会だよりを目指して読者アンケートを実施しています。よりよい紙面を作っていくためにご協力をお願いします。

アンケートの回答は
こちらから



編集後記

特集ページのとおり、新任の議会広報モニターによる会議を行い、議会の仕事や役割などの説明後、意見交換を行いました。皆様からは、ご自身の経験を踏まえ、議会だよりや市政についての確なご意見をいただき、市民の声を聞いてほしいという思いが伝わってきました。

また、6月1日には赤穂南小学校6年生54名が議場見学に訪れました。社会科の授業で先生とともに学び、考えた提案として、「安全に

利用するため公園に柵を設置してほしい」「地域の文化や伝統を守るために馬見塚のお祭りを続けてほしい」「みんなでごみを拾いに取り組み、通学路をきれいにしてほしい」などの意見が発表されました。感動したのは、「現状はこうだから、こうしてほしい。その成果として、こうなる」という視点で提案されていたことです。議員は学習しましょう。

(小原晃一)

広報広聴委員会

委員長	中島 和彦
副委員長	中山 万宝
委員	小原 茂幸
委員	竹村 誉
委員	小原 晃一
委員	竹村 知子
委員	福澤 美香
委員	今堀 雷三